

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 味岡建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内、グループ企業内に保有するPCB含有機器の有無を把握しており、有の場合は機器の状態の調査を依頼し、結果証明書を取得。2021年3月31日までに全機器の調査・処理完了。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・本社社屋3階の内、1～2階の蛍光灯をLEDライトに交換を実施し、電力使用量を削減している。(2020年) ・休憩時には消灯を励行している。 ・【予定】熊本県の簡易計算シートを活用し、エネルギー使用量の把握及び削減に取り組む(2022年10月)							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・現場監督の現場用車両を環境対策車両(平成30年基準排出ガス50%低減レベル)に入れ替えを行った。また、工事車両の排ガス対策化、営業車両を段階的なハイブリット車への移行に取り組んでいる。 ・【予定】熊本県の簡易計算シートを活用し、エネルギー使用量の把握及び削減に取り組む(2022年10月)		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事などに於いて、河床掘削工事や橋脚を河川内に建設する工事を行う際の濁りの発生を抑えるため、オイルフェンス等で対策する等、常に慎重、万全な対策を行っている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ダンボール類、雑紙、新聞紙を適切に分類し再資源化業者に回収を委託している。 ・ペットボトルキャップの回収を地元で担い、ポリオワクチンキャンペーンに協力している(現在までに約8tを回収)。 ・コンクリート殻、アスファルト殻等を受入れ、リサイクルして再生・製品化を行っている。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内の重機車・作業車の洗車やトイレで使用する水は、自社内の井戸から汲み上げて使用しており、水資源の保全に取り組んでいる。 ・排水は沈殿槽経由で行い、定期的にごみの除去を行っている。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コンクリート殻、アスファルト殻等を積極的に受入れ、リサイクルして再生・製品化を行っている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・多良木町と連携し、林道の整備に取り組んでいる。 ・熊本県法面保護協会と連携し、森林の維持活動に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3	15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・F多良木太陽光発電所(NTTファシリティーズ殿)に弊社の土地を利用して頂き、再生可能エネルギーの利用と供給に協力している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・熊本県法面保護協会と連携し、森林の維持活動に取り組んでいる。					6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13	15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ペットボトルキャップの回収を行い、専門の処理業者に搬入している。(現在までに約8tを回収)。												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・現場監督の現場用車両を環境対策車両(平成30年基準排出ガス50%低減レベル)に入れ替えを行った。また、工事車両の排ガス対策化、営業車両を段階的にハイブリット車に移行している。										9.4	11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

